フジェダノタカラ

サッカー

藤枝にサッカーが根付き約100年。その間、藤枝 の名が何度も全国に轟き、藤枝はいつしか「サッ カーのまち」となりました。市民のサッカーへの関心 も非常に高く、競技者のみならず多くの人がサッ カーに親しんでいます。本市は、スポーツの枠を超え

志太中学校が校技として「蹴球」(サッカー)を定め、 そのことによりサッカー文化が醸成されたことに 敬意を表し、「蹴球都市」を宣言しました。次の 100年も「歴史」を守り、「誇り」と「夢」をもって、 サッカーのまちを実感できるまちづくりを進めて いきます。

た市の文化として、サッカーを位置づけています。

サッカーと、 時間を刻む。





元祖サッカーのまち

藤枝サッカーの歴史は、大正13年に始まります。志太中学校(現藤枝東高校)の 開校にあたり、校長として赴任してきた錦織兵三郎が、蹴球(サッカー)を校技とし たのが最初。当時は野球全盛時代で、多くの反対があったと記録に残っています。 それでも意志を貫き、全生徒に蹴球をさせたことが藤枝サッカーの原点になりました。 大正15年に創設された蹴球部はその後、国体や高校サッカー選手権などの全国 大会で優勝を重ね、「サッカーのまち藤枝」の名を確固たるものにしていきました。

藤枝MYFC

During this time, Fujieda's name roared all over the

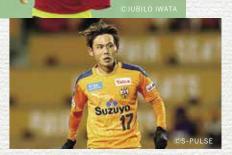
where you can experience the city of soccer with

藤枝MYFCは、2009年に創設され、2014年から J3リーグに参戦しています。志太榛原地域の4市2町 をホームタウンとして活動し、2019シーズンはクラブ 史上最高位の3位でシーズンを終えました。2020 シーズンにはJ2ライセンスを取得し、「一体感~挑む~」 のスローガンのもと昇格に向け戦っています。

全国PK選手権大会

毎年8月に藤枝総合運動公園で行っている、 PK日本一を決める大会「全国PK選手権大会」。 全国のみならず時には海外からの参加もある人 気の大会です。キッズからシニアまでの世代、性別 ごとのカテゴリーに分かれ、約500チームが参加 しています。藤枝の夏を彩る熱いイベントです。





藤枝ゆかりのプロサッカー選手

藤枝ゆかりのプロ選手は数多く、日本代表にもたくさんの選手が選出されてきました。 幅広い活躍をみせる中山雅史さん、長谷部誠選手、大井健太郎選手、河井陽介選手 などは子どもたちの憧れの的で、大きな目標になっています。身近なところに憧れの 選手がいる「蹴球都市ふじえだ」で育つ子どもたちは、目的意識も高く、恵まれた環境の なかで互いに切磋琢磨しながら育っています。藤枝の誇りを胸に、より高いステージでの 活躍に期待しています。



フジェダノタカラ

お茶 Green Tea

江戸時代には山間部を開墾し茶園が広がり、銘茶の 産地として知られるようになり、明治時代には、市内茶町に 多くの茶商が軒を連ね、茶業が栄えました。現代でも茶は 藤枝市の重要な産業。生産から流通まで多くの人が藤枝茶 を支えています。そして今、伝統を生かしながら自由な 発想を取り入れ、新しい藤枝茶の魅力を発信しています。

During the Edo period, Fujieda became a production center for high quality tea. The tea industry flourished during the Meiji Period in Fujieda and its history and tradition remains important to this day. Incorporating new ideas with this tradition, the tea made these days transmits the charm of Fujieda city.

朝比奈玉露

朝比奈川の清流を囲むように山が連なり朝夕は川霧に包まれる岡部町朝比奈地区は、茶の産地として最高の条件がそろっています。なかでも玉露は日本三大産地の一つになっています。玉露は茶園を「こも(粗く織ったむしろ)」で覆い、陽を遮って丹精込めて新芽を育てます。その最高級の玉露を味わえるのが岡部町にある「玉露の里」。本格的な茶室である「瓢月亭」をはじめ、四季折々の茶花が楽しめる茶花園などが併設されています。





新たな藤枝茶

昔ながらの藤枝らしい香りのある山のお茶、浅蒸しで形状のあるお茶の再興に向け、平成27年に「日本一美味しい藤枝茶づくり研究会」が組織されました。生産者・茶商・JA・行政が、オール藤枝で取り組み令和元年に「**藤枝一香**」(ふじえだいちか)が誕生しました。

1年で3日しかない摘採期に摘んだ貴重なお茶。香り高く深い味わいで「世界緑茶コンテスト2020」において金賞を受賞しています。これからも、藤枝茶の美味しさを広め、茶産地「藤枝」を盛り上げていきます。



イベント

藤枝市では、茶どころとして、お茶に関連したイベントの開催や、お茶のPR活動を年間を通じて行っています。

県内最古で樹齢300年以上といわれる「藤枝の大茶樹」の 茶摘みや手揉み茶呈茶サービス、また、利き茶No.1を決める 「天下一闘茶会」などを開催。

市が事務局を務める藤枝市茶振興協議会が藤枝茶の 魅力を発信する事業を行っています。



お茶スイーツ

藤枝市内には、茶商が作るお茶を使ったお菓子がたくさん あります。

「世界一濃い抹茶ジェラート」は、東京にも出店するなど 全国から注目されています。抹茶どら焼きや抹茶チョコレート など、藤枝のお茶をふんだんに使い、香りと彩りが楽しめる スイーツは人気商品となっています。

スイーツでも藤枝のお茶を楽しんでみませんか。

未来を担う子どもたち

お茶の知識を幼い頃から学び、日本茶に対する意識を高めるため、「藤枝ジュニアお茶博士」(小学生)、「藤枝ジュニアお茶大使」(中学生)、「藤枝茶楽研究部」(中・高校生)を育成しています。イベントなどで呈茶サービスを行い、藤枝茶の魅力を発信しながらお客様と触れ合いおもてなしの心を学びます。子どもたちが藤枝茶の伝統を引き継ぎ、茶の文化を次世代に繋げていきます。

23

フジェダノタカラ





旅の原点に出会えるまち

藤枝市は、「東海道」を中心に古くから東西を結ぶ交通の要衝として、 多くの人や物が行き交い、歴史や文化を育んできました。そこで育まれ た歴史や文化は、藤枝市の発展を支えた礎であるとともに、地域の魅 力を伝えるとても貴重な財産でもあります。藤枝市では、多くの人々 を魅了する東海道の歴史や文化を活用し、交流人口の拡大や地域の 活性化を図るためにさまざまな事業に取り組んでいます。その取り組 みの一つが「日本遺産」※です。

藤枝市では、隣接する静岡市と共同で、地域内に点在する旧東海道に 関連する歴史や文化、風習などを『日本初「旅ブーム」を起こした

弥次さん喜多さん、駿州の旅』と題したストーリーにまとめ、日本 遺産への申請を行いました。

江戸時代に日本で初めて旅ブームを巻き起こした火付け役と言わ れる十返舎一九の滑稽本「東海道中膝栗毛」や歌川広重の浮世絵 「東海道五十三次」に描かれ、多くの旅人が憧れた美しい景色や 宿場の風情、おいしい名物などが数多く残り、今でもその楽しみを 体感することができる魅力溢れる地域として、令和2年6月に日本 遺産に認定されました。旧東海道の歴史や文化を巡り、旅の原点に 触れる体験をぜひお楽しみください。

※「日本遺産」とは、有形、無形に関わらず地域にあるさまざまな文化資源を総合的に活用し、地域の活性化を図ることを目的とした 文化庁の認定制度。地域の歴史的な魅力や特色を通じて、日本の文化・伝統を語るストーリーが「日本遺産」として認定されます。





明治宇津ノ谷隧道

蔦の細道



十石坂観音堂





せき た なかじょうしも ゃ しき 史跡田中城下屋敷







大慶寺・久遠の松

日本初「旅ブーム」を起こした 弥次さん喜多さん、駿州の旅













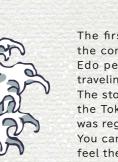








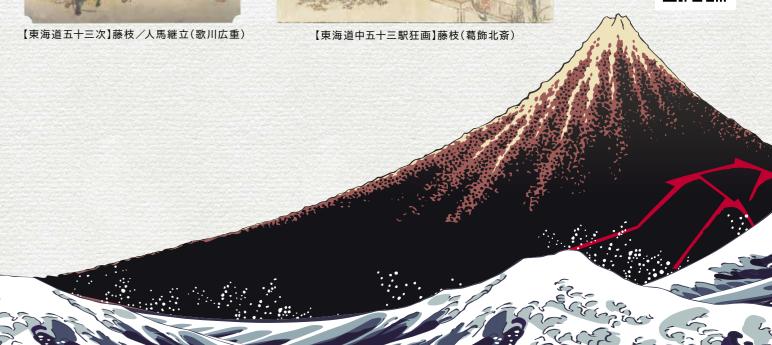
日本遺産 ポータルサイト



The first travel boom in Japan was triggered by the comical novel "Tokaidochu Hizakurige" in the Edo period, which depicts Mr. Yaji and Mr. Kita traveling on the Tokaido.

The story of conveys the history and culture along the Tokaido(road) between Fujieda and Shizuoka was registered as Japan Heritage in June 2020.

You can explore the Tokaido Historic Highway, and feel the origins of travel.





志太天神

江戸時代から伝わる職人の技。 5月が新茶の季節と重なるため、 男児も桃の節句に天神人形を 飾って祝う風習があります。



藤枝ハイボール

「居酒屋から藤枝を元気にする会」 が企画。市の花「藤」をイメージした 藤色のご当地ハイボールです。焼酎 ベースで、かぼす・アセロラを配合。 さわやかな甘酸っぱさが特徴です。



瀬戸の染飯

「東海道中膝栗毛」にも登場する、 東海道の名物。漢方薬にも使われ るクチナシで黄色く染めたおこわ です。戦国時代から瀬戸の茶屋で 売られ、疲労回復に効果があると 旅人に評判でした。現代に復活 され、親しまれています。



藤枝桐箪笥

志太指物師が江戸時代より受け 継いできた伝統の桐箪笥。耐久性 に優れ、虫がつきにくい桐の特性 を生かし、木目の美しさと、確かな 品質で県外にも知られています。





Fujieda

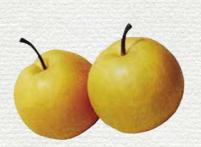
フジェダ

初亀、志太泉、杉錦、喜久酔。藤枝 の地酒は、全国の品評会でも絶賛 される逸品揃いです。志太杜氏の 伝統を守る若い後継者たちの新し い試みにも期待が集まっています。



藤枝朝ラーメン

藤枝朝ラーメン、略して朝ラー。 朝一番の茶仕事を済ませた藤枝 人が食べたことから生まれた文化で す。あっさりスープで、温と冷のセット で食べるのが通とされています。



藤里梨

藤枝のブランド梨「藤里梨」は樹上 で完熟させるため、糖度が高く、 実はやわらか。朝どりのみずみず しい梨は、7月下旬から食べ頃を 迎えます。



みかん・タケノコ・しいたけ

山間部で収穫される豊かな自然の恵み たち。温暖な気候が作物をおいしく育 てます。乾しいたけは全国有数の集散 地となっています。

ノタカラ

Collection



せとやコロッケ

ぷり使った特製コロッケです。「レストラン せとやっこ」「瀬戸谷温泉ゆらく」「おれっ ぷ大久保」の3ヵ所でそれぞれ異なる味の せとやコロッケを販売しています。



市の山間部の瀬戸谷産のシイタケをたっ



朝比奈玉露

朝比东至露

藤枝のお茶の中でも特徴的なのが、 朝比奈地区の玉露。朝比奈川の 川霧と山間の短い日照時間が育む 最高級の茶葉です。丹精込めた 濃厚な味と香りは高い評価を得て います。



サッカーエース最中

昭和32年に誕生したサッカーの まち藤枝を象徴する銘菓「サッカー エース最中」。まんまるのボールの 中にぎっしりあんこが詰まった、 どこか懐かしいおいしさです。



藤枝茶

茶づくりに気候が適していた藤 枝では、生産・加工・輸出と茶を 取りまく産業が大きく発展。玉 露・煎茶・紅茶・抹茶と種類も豊 富で、全国で親しまれています。

藤枝スイーツ

多くの洋菓子・和菓子店があり、

スイーツのまちとしても名高い藤枝。

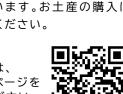
昔ながらの銘菓だけでなく、名産

の茶葉やフルーツなどを使用した、

新スイーツも続々と誕生しています。

扱っています。お土産の購入に ご利用ください。

詳しくは、 ホームページを ご覧ください。



朝比奈和紙

藤枝花火

魅了しています。

年間15万発もの花火を製造する、

全国屈指の花火生産地。毎年多く

の人でにぎわう地元の花火大会を

はじめ、全国の花火大会で観客を

600年の伝統があるといわれる 和紙作り。絶えてしまった技術を、 平成8年によみがえらせました。 地区の小学校では、自分で手す きした和紙の卒業証書が贈られ ます。



藤枝市観光案内所

市の名産・特産品を数多く取り



56